



## チーム嶋村 ガバナー月信

Take Action for Rotary Future. Reach Out for World Peace.

第2号 2022年8月発行



### 親愛なる会長のみなさん

初例会はいかがでしたか？ 新しい年度がスタートして1か月、各クラブの会長のみなさんが、元気に活動されていることを嬉しく思っています。緊張の中で会長方針を発表されるみなさんの姿を想像すると、頼もしくもあり応援させていただきたい気持ちになります。残り11か月、「会長の時間」（会長スピーチ）を大切に行い、「元気なクラブづくり」に邁進して欲しいと願っています。

### 1. 53のクラブがロータリー賞にエントリーしました

本年度より採用したロータリー賞、53のクラブにエントリーいただきました（現在、後3クラブが登録準備中です）。心より感謝申し上げます。

年間を通してのクラブの目標設定を行うロータリー賞は、「元気なクラブづくり」を進める上で、その進捗状況を確認する指標として、会員のみなさんにも共有していただきたいです。その先にはクラブの3から5年後を見据えたクラブビジョン・クラブ行動計画の策定に、つなげて欲しいと願っています。クラブビジョン・クラブ行動計画の策定には、チーム嶋村戦略計画推進委員会の支援（クラブ卓話など）もあります。「ロータリー賞の次はクラブビジョン・クラブ行動計画を」を合言葉に、トライしてみたいはいかがでしょうか？

チーム嶋村ガバナー月信編集委員会よりご連絡：

- ①地区職業奉仕部門の藤掛靖元部門長による「奉仕の理念」を再認識、ロータリーの未来への可能性に挑戦しよう」コラムの連載がスタートしました。
- ②【募集しています！】各クラブの社会奉仕活動、国際奉仕活動、青少年奉仕活動などのレポート投稿をよろしくお願ひします。他のクラブへのヒント・アイデアの提供を目的とします。

チーム嶋村 ガバナー月信

## 2-1. ガバナー公式訪問が始まりました

7月14日(木)、東京田無 RC から70クラブを対象とするガバナー公式訪問がスタートしました。12月14日訪問する東京一ツ橋 RC (2022年5月、RI承認) までの5か月、みなさんにお世話になります。よろしくお祈りします。東京田無 RC の例会場はレンタルスペースということもあり、会員のみなさんが朝9時に集合して、会場を設営いただきました。会員のみなさんにたいへん感謝しています。嬉しいことに、当日は新入会員の入会式がありました。私たちの誇りの一つであるロータリーバッジを新入会員に付けさせていただき、新しい仲間ができる喜びを共有させていただきました。

本年度は、一部のクラブを除きクラブ協議会をガバナー補佐のみなさんに開催いただき、ガバナー公式訪問当日は、会長幹事懇談会の時間を十分に取って、例会後、ガバナー公式訪問フォーラムの開催をお願いしています。新しい形のガバナー公式訪問を通じた会員のみなさまとの話し合いはクラブコミュニケーションアップの機会となります(別紙「東京田無 RC のガバナー公式訪問フォーラム」レポートをご覧ください)。また、クラブコミュニケーションが「元気なクラブづくり」につながることを認識され、ガバナー公式訪問後のクラブ運営に活かして欲しいと願っています。会員のみなさんとの交流・対話を大事にして、友情に溢れたガバナー公式訪問を目指しています。私自身の学びの機会でもあると楽しみにしています。



## 2-2. コロナ禍だからこそ、クラブコミュニケーションを大切に

今回の鼎談は「クラブコミュニケーション」がテーマです。「元気なクラブづくり」のためにはどのようなクラブコミュニケーションが必要かということです。東京お茶の水 RC と東京東村山 RC がコロナ禍におけるオンライン例会の導入プロセスを通して、クラブコミュニケーションについて気付いたこと、リアルなクラブコミュニケーションが土台になることをお伝えします。鼎談をヒント・アイデアとして、喧伝される「第7波」に対してどのようなクラブ運営・例会スタイルができるか、会員のみなさんで話し合いを行ってみたいかがでしょうか？

## 3-1. 8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です

各クラブの SNS から、新年度に合わせた形での新入会員の入会式の様子を拝見させていただいています(7月の入会予定者数55名)ロータリーの仲間が増えることは、たいへん嬉しいことです。新しい仲間はロータリーを元気にしてくれます。

そこで大切なことは、その新しい仲間をどのようにクラブに受け入れ、クラブに馴染んでいただけるかです。入会1年から2年目の会員の退会数が一番多いという残念なデータがあります。ジェニファー・ジョーンズ RI 会長も言われている「会員にとっての心地よさと配慮」が、新入会員へは特に必要だと考えています。「奉仕の理念」(他人を思いやり、そして他人のために尽くすこと)を活かすべきです。会長のみなさんには、新しい仲間との時間を作っていただきたいです。新しい仲間のお話に耳を傾けていただきたいです。そして、自らの言葉でロータリーの素晴らしさを語っていただきたいです

チーム嶋村 ガバナー月信

### 3-2. 新たなロータリーの学びの機会を創設します

私はロータリーを「学び・成長の場」と思っています。友情に満ちた例会運営、ロータリアンだからこそ体験できる奉仕活動、ロータリーでなければ出会わない多様な人々、これらは正にロータリーの素晴らしさです。

昨今、ロータリーの先輩から「ロータリーが変貌してきている」と聞くことがあります。また、ロータリーに対する考え方・付き合い方はさまざまです。ロータリーの117年の歴史という大きな流れに身を置きながら考えて、ロータリーの基本を学ぶことが重要です。私は「ロータリーは聞いては忘れ（※）、書籍を読んでは考え、例会に出席、奉仕活動に身を置きながら、ロータリーが染み込んでいく」と思っています。

※「聞いては忘れ」について：

スイスの片田舎で、老婆がカゴの中に羊の毛を入れて、小川の流に浸して洗っていました。そこに神父さんが通りかかり

「お婆さん、貴方は、毎週教会に来て私の話を聞いているから、さぞかし物知りになったでしょうね」

「いや、神父さん、聞いてもすぐ忘れてしまい、何も覚えていません」

「ほう、それは困った」

「神父さん、カゴの中には、ドンドン水が入っていきますが、すぐカゴの外に流れていきます。しかし、カゴの中の羊の毛はこんなに綺麗になっているでしょう。私も神父さんの話を聞いては忘れ、聞いては忘れしますが、それで私の心も少しは綺麗になっていると思いますよ」

松坂順一地区研修リーダーがガバナーを務めていた時に導入された RLI に代表されるアクティブラーニングのスタイルも定着しました。地区として本年度は、入会2年未満の会員への研修ができていないという声に応じて、入会2年未満の会員向けの「ハローRotary」を、急遽ではありますが開催することにしました（10月、Zoom形式）。また、クラブ幹事・幹事エレクトを対象とさせていただく集中型のRLIをインパーソンで計画しています（来年1月）。本年度後半（来年4月）には、ロータリーが好きになるセッション「TLR」（Training to Love Rotary）をZoom形式で行います。また、クラブでの研修計画を策定いただき、クラブ独自のロータリーを学ぶ機会を提供され、ロータリーの素晴らしさをお伝えいただきたいです。

### 4. 地区大会のスローガンは「ロータリーに夢を」です

地区大会（9月9日（金）、10日（土）開催）まで、1か月余り、みなさんのクラブの登録状況はいかがでしょうか？

スタートアップ型の地区大会が、ご参加いただくみなさんの奉仕の意欲を高め、ヒント・アイデアの交換、新しい仲間との出会いの場になって欲しいと願っています。そして、すべてのロータリーファミリー（インターアクター・青少年交換派遣学生・RYLA 受講生・ローターアクター・ロータリー財団奨学生・米山奨学生等とその学友）にロータリーの素晴らしさを伝えたいです。

以前クラブでお世話いただいたロータリーファミリーへのお声がけをお願いします。彼ら彼女らの成長した姿や新しい出会いがあると思います。

チーム嶋村 ガバナー月信

## 私のロータリーモーメント（心に残るロータリー体験）②：

### 「障害のある人の美術作品展の開催に邁進する先輩の姿」

入会して2年目のある日、社会奉仕活動に情熱を傾けていたロータリーの先輩である津田稔さんから、「嶋村君、君は障がいのある人の描いた絵を観たことがあるか？ その作品には魂を揺さぶるようなパワーがあるよ。一緒に作品展をやらないか？」とお声をかけていただきました。その後、3回にわたり「障がいのある人の美術作品展」の開催をご一緒することができました。その奉仕活動の中で、「思いやりの心」の大切さを学びました。



津田さんは、3回目の美術作品展の準備中に癌が悪化し逝去されてしまいました。命がけで奉仕活動に邁進する姿にたいへん感動しました。私にとって忘れられないロータリアンのお一人です。そのご縁もあり、現在も障害のある人への支援を続けさせていただいています。さらに、国内外を問わず、さまざまな奉仕活動を行い、多くのロータリーモーメントをいただくことができています。津田さんとの出会いに、今でも心から感謝しています。

2022年8月1日

国際ロータリー第2580地区ガバナー 嶋村文男

※ガバナーへのメッセージをお待ちしています→ [info@motoffice.jp](mailto:info@motoffice.jp)

チーム嶋村ガバナー月信編集委員会より：

「東京女子学院中学校高等学校インターアクトクラブ認証状伝達式」

執筆：チーム嶋村ガバナー月信編集委員長 茂木正光

7月23日、練馬区関町北にあります東京女子学院中学校高等学校にて、インターアクトクラブ認証状伝達式と記念例会が開催されました。こちらのインターアクトクラブ（以下、「IAC」）のスポンサーは東京ワセダロータリークラブです。所属するインターアクターは8名です。東京女子学院中学校高等学校はグローバル教育を特色の一つにされています。青少年交換プログラムにて、今夏、ベルギーへの派遣を行います。なお、1月29日の開催予定でしたが、コロナ禍のために延期されていました。



認証状伝達式には、関東第一高等学校 IAC、潤徳女子高等学校 IAC、安田学園 IAC のインターアクターからも参列しました。東京ワセダロータリークラブの宇津木奈保美前年度会長からのご挨拶の後、嶋村文男ガバナーから認証状が授与されました。また、前年度の地区役員から、「さまざまな奉仕活動のチャレンジを行い、IAC の伝統をつくってほしい」、「笑顔は奉仕の基本です」などの激励の言葉もありました。また、東京女子学院中学校高等学校の野口潔人校長からは、「学校の先生だけが先生ではありません。ロータリアンのみなさんもインターアクターの先生です」とのコメントをいただきました。

記念例会は、顧問の江藤照美先生から IAC 立上げ経緯の説明とともに、「インターアクターのみなさんがロータリアンのみなさんから今を生きる力、これから生き抜く力を学んでほしい」とのコメントがありました。サコ・サラ東京女子学院中学校高等学校 IAC 会長からの開会の言葉、点鐘の後、嶋村文男ガバナーによるミニ卓話がありました。嶋村文男ガバナーからは「思いやりの心を持って、地域社会で何をするかを主体的に考えて、行動してほしい」とのコメントがありました。これに対して、サコ・サラ IAC 会長含むインターアクターからは「ロータリアンのみなさんのサポートに伝えていきたい」、「親や先生も含めていろいろな方に支えていただいていることは、当たり前でないことに気付きました。感謝の心を忘れないようにしたいです」、「思いやりの心は周りに広がっていくことに気付くことができました」との感想がありました。



盛会の中で、新しい IAC の門出を祝うことができました。

チーム嶋村 ガバナー月信

チーム嶋村「元気なクラブづくりのための鼎談」第3回：  
「元気なクラブはクラブコミュニケーションが充実しています  
～コロナ禍におけるオンライン例会の導入プロセスから～」

嶋村文男ガバナーと、東京お茶の水 RC 会長の木宮雅徳さん、東京東村山 RC 前年度幹事の平野裕明さんとで鼎談を行いました。

今回の鼎談は「クラブコミュニケーション」がテーマです。元気なクラブづくりのためにはクラブコミュニケーションが必要ということです。コロナ禍におけるオンライン例会の導入プロセスを通して、クラブコミュニケーションについて気付いたこと、リアルなクラブコミュニケーションが土台になることをお伝えします。いずれのクラブも、意見、疑問に関して率直にお話ししても大丈夫と思える、また、恥をかくかも？、批判されるかも？、怒られるかも？と考えずに発言できる環境のようです。たとえば、お茶の水 RC の例会は質問しやすい雰囲気です。比較的若手のロータリアンが発言しやすいようです。



今回の鼎談のポイントは次のとおりです。

- ①既存のことにこだわらず、クラブを中から変えていくには、クラブコミュニケーションが大事。
- ②コロナ禍でリアル例会が休会となる中、Zoom 導入のプロセスが比較的若手のロータリアンと年配のロータリアンとのリアルなコミュニケーションにつながる。
- ③若手のロータリアンが年配のロータリアンから学ぶ姿勢と、年配のロータリアンが若手のロータリアンの汗をかく姿を見て、これをフォローする姿勢が大事。

東京お茶の水 RC 会長の木宮雅徳さんからは、Zoom 導入のプロセスのために、会員 10 数人をリアルで対応する中で、「いろいろな話しをお聴きすることができて、リアルなクラブコミュニケーションにもなりました。例会でなかなかお話しできなかった会員とも、お話しする機会となりました」とのことです。また、「ロータリーの良さは年代差があることです。お父さんみたいな人がいます。親睦で仲良くなって、奉仕活動につながるのですが、年配の会員のお話しを聴いて、元気付けられるわけです」、「そして、教えていただけることは学びが大きい」とします。

東京東村山 RC 前年度幹事長の平野裕明さんからは、「東京東村山 RC はリアル派が圧倒的でした。「では、リアルで開催できない時はどうしますか」、「例会を開催できていないクラブは退会者が出ていますよ」と問いかけました。そこで、Zoom の導入となりました」とのことです。また、「前年度会長とは、ゴルフで仲良くさせていただいています。年齢は離れていますが、提案すれば、すぐに対応してくれます」とします。汗をかく若手幹事への年配の会長からのフォロー。会長と幹事とのコミュニケーションも重要です。

「年配のロータリアンの IT リテラシーとフォローの仕方」、「Zoom 導入をきっかけとする例会の新しい形態」、「いろいろなアイデアを出すための夜間理事会の開催」などについてのお話しもありました。

※ YouTube からご覧いただくこともできます (23 分 49 秒)。下記 URL をクリック。

<https://youtu.be/I5qQqGNC1X8>

目次：

1. コロナ禍におけるオンライン例会の導入プロセス
2. 年配のロータリアンの IT リテラシーとフォローの仕方
3. Zoom 導入をきっかけとする例会の新しい形態とアイデアを出すための夜間理事会の開催
4. 比較的若手のロータリアンと年配のロータリアンとのコミュニケーション

## 1. コロナ禍におけるオンライン例会の導入プロセス

嶋村（敬称略。以下同じ）：本日の鼎談は、クラブコミュニケーションがテーマです。元気なクラブづくりのためにはどのようなクラブコミュニケーションが必要かということ、お二人にお話しいただきます。コロナ禍、クラブコミュニケーションが難しくなっています。クラブでどのような取組みをされているかがお話しの中心となります。東京お茶の水 RC 会長の木宮雅徳さん、東京東村山 RC 前年度幹事の平野裕明さんをお願いします。



東京お茶の水 RC、東京東村山 RC とも Zoom の導入をいち早く行いました。そのために、お二人は奔走されました。コロナ禍でクラブコミュニケーションをはかることで気付いたこと、さらにリアルなクラブコミュニケーションにつながっていくこともお話ししたいと思います。まずは、木宮さん、Zoom 導入のきっかけをお願いします。

木宮：東京お茶の水 RC は 39 歳から 80 代半ばまでいらっしゃいます。幅広い年齢層が参加している。コロナ禍に入ったときは、例会は休みがちでした。2020 年 7 月 1 日、幹事に就任し、山下さんが会長に就任されました。年配の会員から、コロナではあるが、リアルで会う機会を作ろうという要望が多く出ました。とはいえ、コロナは得体が知れない存在でしたので、例会を開くのは難しかったです。そこで、Zoom により顔だけでもお会いできればと良いかもと考えました。卓話ではできないですが（実際はクラブメンバーの年配の方々に卓話いただきました）、とにかくオンライン上で顔を合わせることを念頭にやってみようと考えました。ただし、70 代、80 代の会員は週報を FAX してくださいという方もいらっしゃるくらいなので、スマホを持っていないという方もいます。まずは、携帯端末を持っている方を対象に、確認のために訪問しました。東京お茶の水 RC は、古本屋の街である神保町、スポーツ用品店の街である小川町、繊維問屋街である岩本町という靖国通り沿いにいる会員が多いです。私の事務所は神田神保町ですので歩いて行けます。仕事の合間に、各々の会員のところに向いて、携帯端末を確認し、実際に Zoom を試してみました。すると、「けっこう面白いね」という反応をいただきました。10 数人を対応しましたので、その場でいろいろなお話しもお聴きすることができて、リアルなクラブコミュニケーションにもなりました。例会でなかなかお話しできなかった会員とも、お話しする機会となりました。多くの会員がやってみよ



チーム嶋村 ガバナー月信

うじゃないかということで、2、3か月したら、会員の9割ぐらいがZoomを行うことができるようになりました。とはいえ、Zoom例会の開始直前に、「音が出ないんだけど」とか「どのボタンを押すんだっけ」とか電話がかかってくるので、対応が結構たいへんではありました。それでも、2、3回でまあまあできるようになりました。先ほどのFAXを送信してくださいという会員はスマホをお持ちではなかったですが、Zoomのできる会員が近所にいるので、そこで一緒にやりますということになりました。現在、例会場の一つとなったブックハウスカフェ（絵本のカフェ）があるのですが、そこに複数の会員が集まり、親睦を深めながらZoomのノウハウも共有されました。そのような流れで、Zoom例会に馴染んでいくことができました。

嶋村：Zoomを活用しているという噂を聞いて、2020年後半ごろに訪問したことがありました。その時に、幹事の木宮さんが汗を流して、セッティングされていました。素晴らしいです。ついで、平野さんにお伺いします。例会が開催できない期間により、クラブがパワーダウンしていたわけですが、そのような時、どのようにZoom導入をしていったのでしょうか？

平野：多摩分区で例会が開催できていないクラブは退会者が出ていました。また、クラブがパワーダウンしていると聞いて、Zoomを導入したいと考えました。とはいえ、東京東村山RCはリアル派が圧倒的でした。「では、リアルで開催できない時はどうしますか」、「例会を開催できていないクラブは退会者が出ていますよ」と問いかけました。そこで、Zoomの導入となりました。緊急事態宣言の時はZoom、それ以外はリアルと、ハイブリッドはなしとしました。



嶋村：例会を休まないことということですね。前年度のガバナーも例会を休まないことを推奨していました。

平野：前年度、東京東村山RCは1回も例会を休みませんでした。これが、クラブの誇りにつながっています。

## 2. 年配のロータリアンのITリテラシーとフォローの仕方

嶋村：それは素晴らしいお話しですね。ありがとうございます。木宮さん。Zoomができない人は思い込みが強いのでしょうか？

木宮：ITリテラシーでいうと、Windows95が登場した時に何歳だったかがかかります。そのころ30代、現在だと60代ぐらいまではなんとかなります。しかし、70代以上だと、そんなにパソコンに慣れ親しんでいないと思います。ぎりぎりワープロ専用機ぐらいです。このため、ITは難しいという思い込みのある人が多いです。スマホもめんどくさい、ガラケーで良いじゃないかという人もいます。しか



し、わかってくると、興味を持って楽しんでいただけました。なので、80代の会員もZoomを使えます。また、東京お茶の水RCは年配の会員が若い会員の言うことを聴いてくれます。素晴らしいことです。できないと言っていた会員が、できるようになると、いいね！と言ってくれます。クリスマス例会の時には、やって良かったとコメントしてくれました。

嶋村：最高ですね。私の母は80歳ですが、Facebookを始めて、喜んでいます。これは、孫や若い社員に教えてもらって、コミュニケーションになっています。ツールにより教え合うことになっています。大事だなと考えています。さて・・・平野さん。リアル例会にこだわる会員への対応としてどのようなことを行いましたでしょうか？

平野：一昨年、Zoom教室を2回開催しました。若手の会員があちこち回り、できるようになりました。また、Zoomができるようになって、前年度地区委員会のオンライン会議に出席することができました。「習っておいて良かった」、「Zoomだから出席できないとか恥ずかしい思いをせずにすんだ」というコメントをいただくことができました。

### 3. Zoom導入をきっかけとする例会の新しい形態とアイデアを出すための夜間理事会の開催

嶋村：感謝ただけて良かったですね。感謝が伝わると、またコミュニケーションが広がりますね。木宮さん。ブックハウスカフェの効用は出ていますか？

木宮：東京お茶の水RCの例会場はホテルグランドパレスでしたが、コロナ禍により、2021年6月、営業終了となりました。7月1日から新例会場にしないといけないことになりました。私はその年度の幹事だったわけですが、山下会長と相談しました。ホテルグランドパレスは例会費を廉価にしていたでいていました。いろいろなホテルから見積りをいただきました。結果として東京ドームホテルになるのですが、原価が上がる分、節約しようとなりました。そこで、ブックハウスカフェをもう一つの例会場としました。後に、ブックハウスカフェのオーナーにはオンライン会員になっていただきました。前年度、東京お茶の水RCはオンライン会員を設けました。現在、3名のオンライン会員がいます。ハイブリッド例会は、東京ドームホテルとブックハウスカフェで開催しています。東京ドームホテルで2回、ブックハウスカフェで1回、それ以外に夜間例会（不定期）とバリエーションのある例会を開催しています。夜間例会以外は、ハイブリッドです。

嶋村：例会の新しい形態を検討する機会にもなっていますね。新しい形態により、新しい会員も入ってきますね。平野さん。前年度、幹事として奔走した中で、新しいトライとして日体大桜華中学・高等学校インターアクトクラブ（IAC）を立ち上げました。これは、クラブコミュニケーションの成果なのでしょうか？

平野：たまたまですが、Zoom例会の時にIACのお話しが来ました。コロナ前ですと理事会で決めるところですが、Zoom例会ですと会員の理解を得るためのコミュニケーションが行われます。また、Zoom例会ですとなかなか卓話をお願いできる方が少ないです。たまたま、地区インターアクト委員に卓話をし

ていただけて、良いきっかけとなりました。

嶋村：野沢前年度会長はフォローしてくださったと思います。今後、会長にはどのようなバックアップを期待しますか？

平野：クラブのことを迅速に決定してくれると行動がしやすいです。

嶋村：それには、クラブコミュニケーションがないと難しいですね。

平野：野沢前年度会長とは、ゴルフで仲良くさせていただいています。年齢は離れていますが、提案すれば、すぐに対応してくれます。

嶋村：会長と幹事とのコミュニケーションも重要ですね。東京東村山 RC は、夜間に理事会を開催していると聞きます。クラブコミュニケーションのアップにつながりますか？

平野：時間は 18:30 から 19:30 まで、しっかりとした理事会を開催しています。19:30 までと決めていますので、いろいろな新しいアイデアが出ます。その後、懇親会となります。良い理事会の運営の仕方と思っています。

#### 4. 比較的若手のロータリアンと年配のロータリアンとのコミュニケーション

嶋村：東京お茶の水 RC のように例会のバリエーションあるものにするだけでなく、東京東村山 RC のように理事会の時間帯も変えてみる、会長はさまざまに考えてみる、画一的でなくアイデアを行動に移し繰り返し返してみる。そういうことが、クラブコミュニケーションにつながるのではないのでしょうか？ さらにテイクアクションにつながるのではないのでしょうか？ 木宮さん。チーム嶋村の会長としての抱負をお話したいです。先輩と若い世代のコミュニケーション不全が危惧されているところですが、どのようにすれば打破できるのでしょうか？

木宮：ロータリーの良さは年代差があることです。お父さんみたいな人がいます。親睦で仲良くなって、奉仕活動につながるのですが、年配の会員のお話を聴いて、元気付けられるわけです。東京お茶の水 RC の地元の神田地域は文化度が高い地域です。そういう地域に先祖代々住まわれている会員から、私のように関西出身の会員が神田地域の文化のことを教えていただきたいです。そして、教えていただけることは学びが大きいです。卓話者は外部からが多いようですが、内部からもしていただこうと考えています。地元を知り、地元をサポートできることを考えようということです。社会奉仕活動ですね。私の年度はそのように考えています。神田地域では、いろいろお祭りが開催されています。この地域にはカレー屋さんもたくさんあり、神田カレーグランプリも行われています。110 数店舗がスタンプラリーに参加します。東京お茶の水 RC もこの神田カレーグランプリを応援します。また、本の街、神保町では、毎年秋に古本まつりや神保町ブックフェスティバルも行われます。来年 5 月は神田祭が行われます。大小 200 を超える神輿が出ます。東京お茶の水 RC として応援する予定です。地元を元気にし

チーム嶋村 ガバナー月信

ましよう！と、クラブを元気にしましよう！は連携しているのではないのでしょうか？ また、こういう地域の行事に参加することで公共イメージにもつながります。我々のロータリークラブの活動をより良く知っていただきたいです。現在、ロータリーのイメージが少し希薄になっているように感じます。汗を流して、地元の方と奉仕活動を行いたいです。ロータリアンだけで奉仕活動をするのではなく、オープンな奉仕活動をすることで、ロータリーを知ってもらい、少しずつイメージを変えていけるのではないのでしょうか？

嶋村：クラブを中から変えていくには、クラブコミュニケーションが大事です。既存のことにこだわらずに、新しいことに会長が舵を切る。一つの勇気が必要ではないのでしょうか？ 木宮さん、平野さん、ありがとうございます。クラブを元気にするために、これからもよろしくお願いします。

以上

## 「東京田無 RC におけるガバナー公式訪問フォーラム」レポート

執筆：地区幹事 金子知未

2022年7月14日（木）、西東京市にあります「スカイタワー西東京」の会議室にて、東京田無 RC へのガバナー公式訪問がありました。当日の流れは、10:30 から会長幹事懇談会、11:50 からフリータイム（写真撮影等）、12:30 から例会（ガバナー卓話 30 分）、13:40 から 15:30 までガバナー公式訪問フォーラムでした。フォーラムの最後には、嶋村文男ガバナーからの総評がありました。



ガバナー公式訪問フォーラムは、「IMAGINE ROTARY これからの東京田無 RC を想像して議論を進めていきましょう」と、司会者である幹事の挨拶から始まりました。クラブ奉仕委員長（次年度会長）より、進行役としての挨拶、ロータリー賞についての登録報告とともに、目標として設定した内容について議論したいとの説明がありました。テーマは、①社会奉仕活動、②会員増強、③クラブ戦略計画・長期計画の立案となりました。

まずは、東京田無 RC のこれまでの社会奉仕活動について、担当会員より報告を行いました。「各自それぞれのきっかけや思いがあって、クラブに所属していると思う。それでも地域で良いことをしよう、地域に貢献したいという気持ちは共通しているものなのではないか」との趣旨に続き、「小学校児童版画作品展」、「市内中学校でのピアノコンサート」の振り返りがありました。また、7月31日の環境保全クリーン活動に先駆けて行われる、7月24日の第1回クリーン活動の企画説明がありました。

上記報告後、出席会員が各自の考える①「社会奉仕活動」について発言を行いました。進行役のリードにより、出席者全員に発言の機会が与えられました。終始、和気藹々と和やかな雰囲気でした。発言は次のとおりです（抜粋）。

- ・お金を出して、やっていますアピールだけではない活動をしたい。ベテランの会員も新入会員も平等、立場は一緒。一緒に活動することが大事。
- ・参加型奉仕活動を考えるにあたって、過去の事例を（当時会員でなかった人は先輩から話を聞くなりして）検討することは有意義なことである。
- ・実践行動より、我々事業主が自分の仕事を通して社会的な奉仕をすることがロータリーである。奉仕で大切なのは思いやり。白い杖を送るだけでなく、目の不自由な人に手を添えて話しかけることがクラブの社会奉仕の精神。奉仕の心とはそういうものである。
- ・行政ができないこと、個人ができないことをロータリーが触媒となって活動していくことが大事ではないか。
- ・ロータリーで行う奉仕活動とボランティアが行う奉仕活動がごちゃ混ぜになっているのではないか。本来のロータリーの奉仕、サービスの考えに立ち返るべきなのでは。
- ・奉仕というものを勉強中である。経営者という立場の奉仕活動と一般的な奉仕活動の整理ができない。先輩方に教を請いたい（入会3年目の会員）。
- ・奉仕活動に参加することで自分自身が元気になれる。それを会社に持ち帰ることで、従業員に元気が伝わっていく。まずは動いてみて、それが刺激となりうまく回っていくのでは。

チーム嶋村 ガバナー月信

- ・ロータリーの究極の目的というのは、奉仕の理想を実現することで、より良い人間関係、住み良い社会作り、平和で幸せな世界を作っていくこと。それに向けての実践のため、寛容の心を養うことが大切。このことは、東京田無 RC の長期戦略までつながる。

②会員増強については、会長より「新入会員を入れることで元気なクラブになり、クラブの活性化につながり、さらに入会希望者が増えるという良い循環を目指そう」との方向性と、「クラブを知ってもらう機会を増やすため、月に一度の夜間例会を予定している」との具体策が示されました。なお、③クラブ戦略計画・長期計画の立案については、時間切れとなり、討論は次回の機会への持ち越しとなりました。

ガバナー公式訪問フォーラムを振り返りますと、これまでクラブ内で一つのテーマについてここまで話し合うことはなく、社会奉仕活動について深く掘り下げることができ、自由に議論する絶好の機会となったと思います。また、ロータリーについて、クラブについて、真剣に考える時間となり、将来へつながる東京田無 RC の秘められた可能性を感じました。また、総評では嶋村ガバナーの本年度にかける熱い思いが伝わり、東京田無 RC への温かい愛情を感じることができました。



なお、後日、会員から挙げた反省点は次のとおりです。

- ・限られた時間を有効に使うために、事前に出席会員にテーマを伝えておくと、出席会員も発言をまとめておくことができたのではないかな。
- ・テーマを絞り、「〇〇するためにはどうしたら良いか」とクラブの目標とするところを具体的かつ明確にすれば、更に建設的で発展的な議論をすることができたのではないかな。
- ・ガバナーへの質問時間を設けても良かったのではないかな。

## 「奉仕の理念」を再認識、ロータリーの未来への可能性に挑戦しよう

### 第1回 なぜ「奉仕の理念」を学ぶのでしょうか

執筆：地区職業奉仕部門 部門長 藤掛靖元

会長のみなさま、こんにちは。本年度の地区運営方針の中で一番に掲げられているのがロータリーの基本哲学である「奉仕の理念」が確立された歴史の再認識です。嶋村文男ガバナーは「ロータリアンとして、「奉仕の理念」を携え、歩んで欲しいと願っています。そのためにもう一度「奉仕の理念」を学びたいと思っています」と述べられています。

会長のみなさまは、「奉仕の理念」を会員のみなさんにどのように伝えたいと考えていますか？ この「奉仕の理念」につきまして、ガバナー月信に今回を含め5回シリーズで掲載させていただくこととしました。ロータリーの真髄を会長のみなさんと共に学んでいきたいと思えます。会長のみなさまには「奉仕の理念=奉仕の心」を「元気なクラブづくり」の一環として会員のみなさまにお伝えする機会をお作りいただきたいです。

今回は、なぜ「奉仕の理念」を学ぶのかについて考えてみたいと思えます。会長のみなさまは仕事や社会生活全般において行動するとき、大切にしている考え方や信条などをお持ちだと思います。個人なら「座右の銘」、会社なら「経営理念」ですね。さて、ロータリークラブはどうでしょうか。ロータリーに入って良かったことの一つに「色々な職種の方に出会い、年代を超え親睦を深めることができた」という声を聞きます。ロータリークラブは「親睦」が基本であると言われる所以です。親睦を基本としたクラブはロータリー以外にも数多く有りますが、ロータリーしかない、ロータリーをロータリーたらしめているものがあります。それは何でしょうか。会長のみなさまはロータリーの目的をご存じ（聞いたことがある）と思えます。

「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」（国際ロータリー定款第4条、ロータリークラブ定款第5条）

ロータリーの親睦は常にロータリーの哲学を心に置いている。その親睦の目的は常に自己の向上、自己研鑽を目的としたものなのです。ここが他の親睦団体にはないロータリーならではの特色です。

さて、そのロータリーの哲学とは何でしょうか？ それが「奉仕の理念」なのです。この「奉仕の理念」があるからこそ、110年前に、たった4人から始まったロータリーの今があるのです。この「奉仕の理念」については決議23-34号第2項に、次のとおり明確に記されております。

「職業および人生における成功と幸福の真の基礎である」

私たちはロータリアンとして、ロータリーの根幹であるこの「奉仕の理念」への理解を深めることにより、ご自身の仕事だけでなく人生観そのものを大きく広げるチャンスを得ることができます。

では、次回からこの「奉仕の理念」について解き明かしていくことにしましょう。

チーム嶋村 ガバナー月信

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ロータリー財団・メジャードナー

\*2021-22 年度認証

レベル1	大谷 昌義 (東京新宿)	渡邊 俊一 (東京紀尾井町) 5回～MD*
------	--------------	-----------------------

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

7回	金子 高一郎 (東京ベイ)	
6回	岡部 悠 (東京新宿)	佐藤 利光 (東京青梅)
5回	奈良 恒則 (東京新宿)	藍川 眞樹 (東京新宿) PHF～5回
4回	新村 敏明 (東京紀尾井町) *	西岡 孝志 (東京紀尾井町) *
3回	田村 純治 (東京江戸川中央)	
2回	岡本 隆一 (東京ベイ) 田島 泰 (東京江戸川中央)	小宮 勝巳 (東京江戸川中央) 皆川 英久 (東京江戸川中央)
1回	高野 治彦 (東京新宿) 目代 純平 (東京紀尾井町) * 坂田 生子 (東京紀尾井町 RC) 宮川 直明 (東京青梅)	小林 武彦 (東京紀尾井町) * 奥寺 邦俊 (東京紀尾井町) * 塩野 淳巳 (東京青梅) 岡田 丈尋 (東京福生) PHF～1回

ポール・ハリス・フェロー

松井 敦 (東京新宿)	増田 努 (東京新宿)
原田 尚彦 (東京紀尾井町) *	川端 定則 (東京紀尾井町) *
前原 秀一 (東京紀尾井町) *	守重 知量 (東京紀尾井町) *
馬淵 知子 (東京紀尾井町) *	武藤 弥 (東京紀尾井町) *
黒田 善孝 (東京紀尾井町) *	久保田 優子 (東京紀尾井町) *
日高 正人 (東京紀尾井町) *	井浪 喬之 (東京紀尾井町) *
大澤 一隆 (東京江戸川中央)	番場恵介 (東京江戸川中央)
山田 憲裕 (東京江戸川中央)	友野 英三 (東京武蔵野)
深田 貴美子 (東京武蔵野)	北 滋 (東京武蔵野中央)
武藤 寿信 (東京福生)	高山 優 (東京福生)

米山功労者・メジャードナー

102回	飯島 英夫 (東京城北)
19回	加藤 利雄 (東京本郷)
16回	張 碧華 (東京お茶の水)
12回	嶋村 文男 (東京東江戸川)

米山功労者・マルチプル

2回	片桐 俊一 (東京王子)	瀬田 勝彦 (東京足立)
----	--------------	--------------

ポール・ハリス・フェロー

大星 太郎 (東京臨海西)
---------------

6月30日分まで 敬称略、順不同

チーム嶋村 ガバナー月信

第2580地区 2022年6月会員数（正会員）

2022/7/22

分 区	クラブ名	正会員数						
		7月1日	6月末	増減	入会者 累計	退会者 累計	女性	
中央 分 区	東京	338	335	-3	12	15	8	
	東京西北	55	55	0	6	6	0	
	東京神田	61	58	-3	0	3	2	
	東京麴町	40	55	15	15	0	7	
	東京城北	20	18	-2	1	3	3	
	東京新宿	71	70	-1	11	12	0	
	東京セントラルパーク	28	30	2	3	1	3	
	東京四谷	35	29	-6	1	7	5	
	東京練馬西	22	26	4	6	2	4	
	東京新都心	57	58	1	3	2	0	
	東京紀尾井町	75	77	2	3	1	24	
	東京お茶の水	37	36	-1	3	4	3	
	東京練馬中央	24	25	1	2	1	3	
	東京ワセダ	40	36	-4	2	6	9	
	東京御苑	15	12	-3	1	4	3	
	東京丸の内	10	9	-1	2	3	7	
	東京一ツ橋	0	20	20	20	0	8	
	小計	928	949	21	91	70	89	
	北 分 区	東京北	104	102	-2	2	4	7
		東京池袋	40	27	-13	1	14	3
東京王子		44	42	-2	2	4	5	
東京浅草		65	64	-1	5	6	1	
東京板橋		40	40	0	1	1	1	
東京荒川		40	37	-3	1	4	6	
東京小石川		37	35	-2	2	4	5	
東京池袋西		25	25	0	4	4	0	
東京上野		43	43	0	2	2	5	
東京浅草中央		47	47	0	1	1	0	
東京豊島東		23	21	-2	3	5	4	
東京本郷		48	47	-1	3	4	4	
東京板橋セントラル		18	16	-2	0	2	4	
東京リバーサイド		33	30	-3	0	3	3	
東京後楽		42	42	0	2	2	3	
小計		649	618	-31	29	60	51	
東 分 区		東京東	62	68	6	10	4	4
	東京江北	44	45	1	2	1	0	
	東京江東	20	21	1	1	0	3	
	東京江戸川	42	43	1	3	2	1	
	東京葛飾	28	25	-3	0	3	0	
	東京城東	35	34	-1	2	3	1	
	東京向島	31	27	-4	0	4	1	
	東京東江戸川	26	23	-3	0	3	0	
	東京葛飾東	17	17	0	1	1	0	
	東京足立	28	23	-5	1	6	4	
	東京ベイ	19	16	-3	1	4	1	
	東京臨海	80	82	2	7	5	0	
	東京江戸川中央	19	19	0	0	0	0	
	東京臨海東	19	20	1	2	1	7	
	東京葛飾中央	20	22	2	2	0	1	
	東京臨海西	38	39	1	3	2	0	
	小計	528	524	-4	35	39	23	

分 区	クラブ名	正会員数					
		7月1日	6月末	増減	入会者 累計	退会者 累計	女性
武蔵 野 分 区	東京武蔵野	29	28	-1	3	4	3
	東京小平	20	22	2	3	1	1
	東京田無	24	23	-1	1	2	3
	東京東久留米	33	31	-2	0	2	1
	東京保谷	12	11	-1	0	1	3
	東京武蔵野中央	39	38	-1	4	5	4
	小計	157	153	-4	11	15	15
	多摩 分 区	東京青梅	35	35	0	1	1
東京東村山		26	27	1	2	1	1
東京福生		43	45	2	5	3	4
東京東大和		19	19	0	2	2	2
東京武蔵村山		30	30	0	2	2	0
東京秋川		41	43	2	4	2	2
小計		194	199	5	16	11	9
沖 縄 分 区	那覇	67	63	-4	6	10	0
	石垣	43	51	8	8	0	3
	コザ	25	26	1	5	4	2
	那覇西	52	50	-2	4	6	2
	宮古島	24	28	4	4	0	1
	宜野湾	29	30	1	1	0	12
	那覇東	36	37	1	3	2	6
	浦添	27	28	1	2	1	9
	名護	32	33	1	4	3	6
	那覇南	19	19	0	3	3	3
那覇北	21	22	1	1	0	1	
小計	375	387	12	41	29	45	
合計	2,831	2,830	-1	223	224	232	

(2022年5月23日 東京一ツ橋RC 国際ロータリー加盟認証)

(2022年6月30日 東京池袋RCと東京豊島東RCが合併)

7月1日クラブ数 70 RC

7月1日会員数(前年度から継続) 2,831 名  
(内女性会員 214 名)

6月末クラブ数 70 RC

6月末会員数 2,830 名  
(内女性会員 232 名)

6月入会者 14 名  
(内女性会員 3 名)

6月退会者 89 名  
(内女性会員 13 名)

本年度入会者 223 名

本年度退会者 224 名

本年度会員増減数 -1 名

本年度女性増減数 18 名



## 入会者情報 ～クラブにおける会員増強のためのヒント・アイデアを提供します～

### 1. 情報収集の時期

2022年7月1日から7月15日まで

### 2. 入会者数（任意の提供ですので、実際の人数とは合致していないと存じます）

29名

### 3. 入会者の年齢層（小数点第2位切捨て）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	1	3	9	12	3	1
割合	3.4%	10.3%	31.0%	41.3%	10.3%	3.4%

※最年少29歳、最年長70歳

### 4. 入会者の性別（小数点第2位切捨て）

	男性	女性
人数	23	6
割合	79.3%	20.6%

### 5. 職業

建築コンサルタント、不動産仲介（2名）、鉄道輸送、公認会計士（2名）、建築設計、酒販小売業、損害保険代理業、羊羹、仏教、日本料理、不動産投資、広告業、ゴムプレス加工業、福祉事業、病院、環境産業、建築材料販売、生命保険（2名）、税理士、鍼灸あん摩マッサージ指圧師、総合電機、新聞、地方銀行、不動産鑑定士、持株会社、予備校

### 6. 紹介者との関係

大学の後輩、友人（2名）、同系列会社、会社の顧問、趣味のクラブ、趣味のアカデミー（2名）、同業者（2名）、地域関係者（3名）、青少年奉仕活動、クラブのサイトを見て、共通の趣味を通じて、共通の知人がいたため、約10年前に現在の事業所に入社されて以来のお付き合い、約20年前に税理士の紹介でお仕事のお手伝いをして以来のお付き合い、約20年前に銀行のご紹介でお仕事のお手伝いをして以来のお付き合い、近居の方、同じ青年会議所、紹介者の保険の担当者、前任者の後任（3名）、仕事上のお付き合い（2名）、チャーターメンバーの故人を引継ぎご入会

### 7. クラブ別の入会者数（クラブ名、一部省略）

東京神田（2名）、東京新宿（1名）、東京新都心（1名）、東京紀尾井町（3名）、東京浅草（5名）、東京江東（1名）、東京葛飾（3名）、東京江戸川中央（4名）、東京武蔵野（1名）、東京田無（1名）、東京福生（1名）、那覇西（4名）、名護（1名）、那覇北（1名）、以上14クラブから回答

### 8. 特記事項

東京葛飾RCへの入会者、29歳の女性（広告業）は、同RCのサイトを見てご連絡をくださったとのことです。

ご協力いただきましたクラブのみなさま、入会者情報をご提供いただき、誠にありがとうございました。

## 心よりお悔やみ申し上げます

河野 坦司（こうの ひろし）名誉会員  
東京御苑ロータリークラブ  
ご逝去日 2022年2月21日 享年81

現王園 成夫（げんおうぞの なりお）会員  
東京東久留米ロータリークラブ  
ご逝去日 2022年7月4日 享年92  
入会日 1982年6月22日  
現王園税務会計事務所 所長  
ポール・ハリス・フェロー  
米山功労者

編集： 国際ロータリー第2580地区 ガバナ一月信編集委員会  
ガバナ一月信へのお問い合わせ／コメント： [info@motoffice.jp](mailto:info@motoffice.jp)